

【令和7年度 第6号】

R8.3.10 発行

全日制 開陽 だより



全開！

鹿児島県立開陽高等学校全日制課程発行
〒891-0198 鹿児島市西谷山1丁目2番1号
TEL (099)263-3710 / FAX (099)260-8233



R7 夢・実現！

R7頑張った卒業生

1月17日、18日に大学入学共通テストが実施されました。近年、「年内入試」とも呼ばれる総合型、推薦入試が大学・短大・専門学校を問わず増加傾向にあります。今年は6名の生徒が鹿児島国際大学、1名の生徒が志学館大学で受験しました。「共通テストの成績」+「模擬授業後の試験や面接」で可否を判断する鹿児島大学のAO入試、私立大では共通テスト利用型、一般入試、2月25日に実施された国公立大学の二次試験など、しっかりと対策して挑みました。

今年度は高等学校卒業程度認定試験を利用し、中間年次から大学を受験した生徒（※高校在籍3年以上等、条件あり）もいて、進路実現への道のりが多様化しています。自分に合った入試制度を見つけて、取り組んで欲しいです。

令和7年度 進路状況3／6現在（人数は延べ）

4年制大学（国公立）	1人
4年制大学（私立）	28人
短期大学（国公立）	7人
短期大学（私立）	1人
専門学校・各種学校等	40人
就職（正社員によるもの）	29人

1月・2月は進路に関する行事が続きました。1月20日には「総合的な探究の時間」で職業理解ガイダンスを実施、2月5日には大学、短大、専門学校に合格した4名と、就職内定の3名、計7名の卒年次生の体験を聞く進路報告会を実施しました。報告会では卒業年次生（3年生）が実際の面接や試験

での注意点やそれぞれが努力した内容を、生き生きと語ってくれました。生徒たちの感想からは、「先輩たちのリアルな話が聞けて良かった」「自分の状況と重ね合わせて考えることができた」等、前向きな意見が目立ちました。よい刺激になったようです。一緒に進路を実現していきましょう！



夢への旅立ち！

3月2日月曜日、別れを惜しむ気持ちを代弁するかのごとく降り注ぐ雨の中、後期卒業式が行われました。第23期生107名は、校長先生の式辞、教育委員会の告辞、PTA会長の祝辞、そして在校生代表の伊原泉希（いはらみずき）さんの送辞を胸に、参列者の拍手に見送られ、開陽高校を巣立っていきました。



卒業生代表の尾辻愛楽（おつじあいら）さんの言葉です。「こんなにも温かくて、居心地のいい学校。この学校は、完成させる場所ではなく、未完成のまま肯定してくれる場所でした。ここで私は、人生の向き合い方、考え方、楽しみ方、そして頑張り方を学びました。この学校で出会ったすべての方へ、感謝の思いが尽きることはありません。

先生方へ。私たちは、自由とは、放っておかれることではなく、信じてもらうことだと学びました。何者かにならなくても、ここでは『私』でいられる。そんな場所を作ってくださったこと、心から感謝しています。



私たちが一歩ずつ前へ進むことができたのは、家族の存在があったからこそです。『行ってるっしょい』『おかえり』何気ない言葉の

温かさに、どれほど救われてきたことでしょう。

在校生の皆さんへ。卒業は、思っているよりもずっと早く訪れます。どうか後悔のないよう、全力で今を楽しんでください。壁にぶつかったときは、自分が幸せになる選択を、どうか忘れないでください。

卒業生のみなさんへ。何気ない日常をみんなと過ごせたこと、心から幸せに思います。何気ない日常にあった小さな宝物が皆さんの中に残り続けますように。」

受賞おめでとう

*第76回鹿児島県高等学校美術展において、宮崎彩奈（みやざきあやな）さん（215HR）の工芸作品「往き還る（ゆきかえる）」が優秀賞を受賞しました。来年度全国高校総合文化祭に出品されます。

「この作品は、蛙の手足の形や背中の模様をどうやってデザインに落とし込むか考えながら制作しました。なるべく左右対称に見えるように意識し、どこから見ても美しく見える形を目指して何度も調整を重ねました。タイトルは、上下交互に描いた蛙が行き来しているように見えたことから付けました。」





術文化短期大学, 鹿児島県立短期大学の推薦入試で合格を勝ち取っています。

職業理解ガイダンスでは, 各大学や専門学校から講師を招いて, それぞれ興味, 関心のある職業について説明を聞きました。



現在, 県外私立大学では, 東海大学・九州産業大学・宮崎国際大等, 国公立大学・短大では, 北九州市立大, 大分芸